

令和6年9月20日

教育長 答 弁 実 録

（教育委員会）

（問）半導体人材の育成に向けた教育の推進について

本県の半導体関連産業が持続的に国際的な競争力を維持・向上していくために欠かせない半導体人材の育成に向けた教育について、市町教育委員会と連携し、地域の企業と協力しながら、小中学校段階での理数分野への関心を高める取組や、高等学校段階での電子・化学分野等の専門人材の育成など、早い段階での職業人材の教育を進め、半導体人材の確保に繋げる教育環境を積極的に整備していく必要があると考えるが、見解を伺う。

（答）

AIやIoTなどの急速な技術の進展により社会が激しく変化している中、半導体人材を含む、次代の科学技術を担う人材の育成に向けて、小・中・高等学校を通して、児童生徒の理数分野への関心を高めるとともに、理数教育等を充実させることは大変重要であると考えております。

このため、県教育委員会におきましては、小・中学校段階で、「広島県科学賞」や「科学の甲子園ジュニア」を毎年実施し、さらに高等学校段階では、大学と共催で「広島県科学セミナー」を実施しているところでございます。

また、キャリア教育を推進する県の指定校である小・中学校におきましては、産業界で活躍されている方を招聘し、実社会との関連を図ったプログラミングや科学実験を行うなど、科学技術に関する職業・産業への関心を高める取組を、市町教育委員会と連携しながら進めてまいりました。

高等学校におきましては、理数コース設置校やスーパーサイエンスハイスクール指定校で、事実やデータを基に仮説検証能力を身に付けるための探究プログラムを実施するとともに、今年度、国の高等学校DX加速化推進事業に採択された県内の高等学校15校では、情報・数学等の教育を重視するカリキュラムを実施するため、デジタル機器などの必要な環境整備を行っているところでございます。

また、工業高校におきましては、電子技術について半導体や電子回路と電子機器との関係を踏まえて理解させ、関連する技術を身に付けさせるとともに、今年度新たに、普通科の高等学校におきましても、地元の半導体関連企業と連携し、半導体施設等の見学や、半導体に関する最新の研究についての

出前講座等を開催したところでございます。

県教育委員会といたしましては、半導体技術などの科学技術に関わる高度な知識を持った人材の育成のため、小学校段階から科学技術に対する興味・関心の向上を図り、科学的なものの見方や考え方を育むとともに、高等学校段階での企業等との連携による実践的な教育を推進するなど、先端技術を支える人材育成につながる教育の充実を図ってまいります。